

# 御 嶽 神 社

創建の年代は詳らかでない。寛文六年（一六六六年）十一月二十八日の検地の際には、御嶽社領として五升六合六勺の余地をあたえられたのである。また、境内地三反歩は朱印地である。宝暦年間（十八世紀中ごろ）の棟札は社宝である。祭礼には、湯花の神事を行う。祭神は日本武尊を奉斎している。

例大祭は、毎年八月の末日である。「近年は八月の最終土曜日に行っている。」

境内坪数は八九二坪 小山町二一一番地に鎮座している。 《町田市史・下巻より》

御嶽社社地二千七百坪餘、字御嶽堂ト云所ニアリ、小社ニテ四間四方ノ覆屋ヲ建ツ前ニ拝殿アリ、一間二三間スヘテ南向ナリ、ソノ前ニ石階五十四級アリテ中ホトニ木ノ鳥居ヲ建、祭礼七月十七日下郷（馬場・中村）ノ鎮守ナリ、以上ノ二社（札次神社と御嶽神社）ハ福生寺御朱印ノ内ニシテ共ニカノ寺ノ持也

《明治十七年出版 新編武蔵風土記稿 三多摩編より》（ ）は、付け加えました

\* 江戸時代には、上郷は、久保ヶ谷・三ツ目・新ヶ谷・狸谷・田端・上ヶ谷・岡田ヶ谷・町有・高ヶ谷・片所を言う。

中郷は御嶽堂・沼を言う。下郷は、中村・馬場を言う。今の小山町は、三名の代官・旗本により治められていた。

\* TVドラマ「隠密剣士」のタイトルバックの他、時代劇の場面に使われている。《「まほろばの会」より》